

フィンランド語文法

第12回



今日の授業

子音階程交替は理解できましたか。今日はまずその復習から始めましょう。新しい文法事項としては、補語の格表示を学びます。途中、アキ・カウリスマキ(Aki Kaurismäki)監督の映画「過去のない男(Mies vailla menneisyyttä)」のDVDを見てもらいます。なお、この映画は、カンヌ映画祭でグランプリと主演女優賞を獲得しています。

今日のポイント

「AはBだ」あるいは「Aはどんなだ」の補語は、主格でなく分格で表示されることがあります。その使い分けの条件は、やはり目的語の場合と似たところがあるので、もう一度目的語の格表示を思い出して、整理しておきましょう。

今日の一枚

写真のエスプラナーディ(Esplanadi)は、アレクサンダー通りと平行して走る目抜き通りです。通りの両側にはブランドショップやブティックが軒を連ね、通りに沿った公園は、市民の憩いの場所になっています。